

# 手芸倶楽部新聞

2014年  
4月26日号  
第9号



## 新メニュー紹介

今回新たに、化粧ポーチ作りをレクのメニューに加えました。手縫いでチクチク、返し縫いで作っていきます。ファスナーの取り付けやギャザーを寄せる作業もあり、少々難しいですが、できあがったときの達成感には期待できます！力の弱い利用者様でも楽に縫えるよう、中に入れるキルト芯はアイロン接着しない、柔らかいものを使用。布地は何種類か用意して、利用者様に好みのものを選んでいただきました。裏地もつけたので実用的に使える品です。



現在、三名の利用者様が制作中。できあがったら、またご紹介いたしますね。作ってみたい利用者様がいましたら、材料を用意する関係上、事前に伊藤機能訓練指導員までご連絡ください。

## 伊藤機能訓練指導員より

造花フラワーアレンジメントでは、季節の花々をいけることで季節感を感じることが出来ます。花の生け方に、一人ひとりの個性が出て、そこが面白いところですね。

次回は五月十三日(火)、地域交流室にて十五時より開催予定です。ご家族もご参加いただけます。

## 手芸のヒツ

手の力が弱い方の刺し子。晒し木綿を二重にした布だと、厚みがあって縫いづらかったため、晒し木綿一重にして縫っていただきました。これで楽に挿せるのです。ついでに裏地をつけて、セカンドバックに仕立てました。これすべて利用者様の縫製・デザインなんです。



上達される利用者様に感謝です。



仕上げて  
寄付して  
ください  
ました。  
ありがと  
うござい

第九回の手芸倶楽部は、初の男性利用者様の参加がありました。とても器用な方で、他の利用者様の分も、土台の粘土詰め作業等、お手伝いいただき、とっても助かりました。今回の造花フラワーアレンジメントでは、アジサイの花、藤の花、カーネーションをご用意しました。紫、赤紫、ピンクのグラデーションが美しい、とてもさわやかなアレンジメントができあがりました。



編集後記：刺し子のとてもお好きな利用者様。なんと御年 97 才。いつもお元気で、私の顔をみかけると手招きして「今日は縫えるかしら？」と聞いて下さる程縫い物が大好きでした。でも突然の入院で二週間ほど縫い物ができない環境に。桜園に戻ってきても、以前の様に意欲を見せることなく、針をもつ気力もありませんでした。ですが退院後一か月程すると、他利用者が縫い物をしているのを見て、「今日は縫えるかしら？私もやりたいんだけど」と言って下さったのです。やりかけの刺し子を仕上げ、彼女も私も感無量でした。(平戸)